

5 時間目の授業

- (1) 目標  
論の展開やキーワードの関係性に注目しながら、筆者の最終的な主張を読み取ることができる。
- (2) 展開

過程	学習活動	指導・支援 * 評価
導入	<p>1 本時の目標を確認する。</p> <p>2 本時の目標を意識しながら、第14段落から第18段落までを通読する。</p>	<p>第14段落から第18段落にかけての論の展開やキーワードに注目して、筆者の最終的な主張をとらえる作業を行うことを伝える。</p> <p>論の展開やキーワードを確認しながら読むように指示する。</p>
展開	<p>3 第14段落から第16段落を通読し、キーワードの関係性を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第14段落から第16段落までを通読し、「命令」と「自由(自由意志)」の関係について考える。</li> </ul> <p>4 第17段落と第18段落の内容を押さえながら、筆者の最終的な主張について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「命令」「自由(自由意志)」と「欲求」の関係について考える。</li> <li>筆者が考える「倫理」とはどのようなものかについて考える。</li> </ul>	<p>前時に学習した第13段落の内容を踏まえて考えるように指示する。 自由とは、命令を実行する行動の充実の中で統一されるもの。自由には、自分自身に対してなされる命令があり、命令する自分とされる自分との行動による統一がある</p> <p>繰り返し出てくる表現に注目させ、「欲求」というキーワードに気付かせる。</p> <p>ここで述べられている「欲求」を筆者がどのようなものと捉えているのかについて考えさせる。また、「ゴッホの例」に関する補足説明を行う。 「欲求」を「倫理」と捉えている。</p> <p>第17段落の内容を、「問いかけ」の表現と接続語に注目させながら、理解させる。 「こうした原液は、何か神秘的なものだろうか。」 「けれども」「ところが」(逆接の多用)</p> <p>対立する表現に注目して考えるように指示する 「知性(の計算)」「反省」「認識」「本能」 「本能」が対立するものとなっている点に注意。</p> <p>* 論理の展開とキーワードの内容を読み取っている。 【ワークシート、観察】</p>
終末	<p>5 本時の作業を振り返る。</p>	<p>筆者の最終的な主張について確認させる。</p> <p>本時の気付き(分析・評価の材料)をまとめさせる。</p>